

平成26年度 金富小学校の教育

校長 林 禎久

校訓「強く 正しく 朗らかなれ」のもと、人権尊重の精神を培い、豊かな心と優れた個性をもつ子どもを育てます。

未来を担う子どもが主役の学校

- すべての教育活動で、子ども一人一人を大切にした指導を行う。
- 全校朝会后などに学年集会を設け、学年を意識した学校生活を送ることができるようにする。
- 道徳の充実、「思いやり」「人権尊重」「生命尊重」を取り入れた計画的な指導のもと、相互に尊重し思いやりあふれる子どもを育む。
- あいさつや言葉づかい、集団生活におけるルールやマナー等の基本的な生活習慣の獲得を柱とした学級づくりを行い、相手の気持ちを考えて行動できる子どもを育成する。

「子ども主体の教育活動を展開し、充実した学校生活を送れるようにします」

「多様な人と人とのふれあいを大切に、信頼関係を築きます」

- 子どもの様々な関わり大切に、一人一人のよさを総合的にとらえること重視した児童理解に努める。
- 授業時間だけでなく、休み時間や給食・清掃の時間も含めた教育活動全体を通じて、子どもたちの思いや願いを大切に、夢と希望にあふれた教育活動を実現する。
- 学級や専科担任、養護教諭、SC(スクールカウンセラー)等を中心に、すべての教職員で、子どもたちの不安や悩みを受け止め、迅速かつ適切な解決を図ることを通して、健全な成長を図る。

地域とともに、子どもを育てる学校

子どもにとって明日の登校が待たれる学校
地域にとって児童の成長を期待できる学校

「分かった」「楽しい」の声があふれる学校

- 子ども一人一人の学びの状況に応じた分かる授業を展開するため、
 - ・ 1～2年生の算数・国語では、担任を含めた2人の教員による指導
 - ・ 3～6年生の算数では、2学級3展開の少人数指導を行う。また、実物投影機等のICTを効果的に活用した授業を推進する。
- 問題解決の過程を大切に学習を取り入れ、知識や技能に加えて、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する確かな学力を身に付けさせる。

- 地域が有する人財、施設、自然を生かした体験的な学習、言語活動を重視した学習を展開し、「習得 活用 探究」に関わる能力、コミュニケーションの能力を育成する。

「分かる授業を積み重ね、学習の基礎・基本と問題解決能力の定着を図ります」

「家庭と地域、学校が強力な連携を築き、開かれた学校をつくります」

- 教員が、各種研修を通じて相互に授業力を高めることにより、子どもたちの思い、保護者の願い、地域の方々の期待に応える教育活動を実現する。
- 学校公式サイト、学校だより等を通じて学校情報を発信し、家庭や地域の方々との情報共有を礎に、教育活動の充実を図る。
- 学校評価等に基づき、明らかになった課題を、学校組織をあげて解決し、学校に対する信頼を一層深める。
- 教職員が「子どもを指導する立場である」の自覚と誇りもつと共に、伝え合う関係を築き、問題を事前に防ぐ組織へと一層強化する。

教員が高め合い、信頼される学校

保護者にとって安心して登校させられる学校
教職員にとって働きがいのある学校